

施策評価シート

【施策の概要】

		登録者(課長)名【1】	環境保全課長 小関 俊典		
		主管課(関係課)【2】	環境保全課(管財課、他課分)		
施策名【3】		分野【4】	まちづくりの方向性【5】		
環2-3 公害対策の推進		持続可能な社会を確立するために	環境にやさしいまちづくり		
概要	施策全体の課題【6】		施策実現へむけたキーワード【7】	施策の目標【8】	
	公害問題の悪化を防ぐためには、継続的な調査による問題の早期発見と対策が必要です。大気汚染については、引き続き低公害車の普及促進などに取り組む必要があります。特に光化学スモッグの原因物質のひとつであるVOCについては、取扱い事業者に対する指導による揮発量の削減にも努めなければなりません。		・低公害車などの普及促進 ・VOC対策	自然や市民生活を守るため、公害のない環境づくりをめざします。	
	留意すべき点(都などの制度の変化・その他制約条件・社会環境の変化)【9】				
◇大気汚染について、平成21年に、現行の浮遊粒子状物質(SPM)の環境基準より更に細かい微小粒子状物質(PM2.5)の環境基準が国より示されています。					
事業群名【10】		事業群の施策上の位置づけ【11】			
1	公害問題の防止と解決に取り組めます	公害問題の防止と解決			
2	大気汚染の防止に努めます	低公害車の普及促進などによる大気汚染の防止			

【施策の成果】

			年度	19	20	21	22	23	24
成果指標【12】	指標1	名称	「環境汚染の防止など公害対策の推進」に対する市民満足度						
		算出式・説明	法令に基づく事業者への指導を通じて意識の向上を図るとともに、大気や水質などの調査結果の公表を通じ、市民の公害に対する意識の醸成を図ります。市民意識調査で把握します。						
		目標値	30%				単位	%	
	指標2	名称	庁用車のうち低公害車の占める割合						
		算出式・説明	公害のない環境づくりのために、市が率先して低公害車を使用することにより、事業者や市民が大気汚染の防止に協力する意識を高めます。						
		目標値	55%				単位	%	
	指標3	名称							
		算出式・説明							
		目標値							
	指標4	名称							
		算出式・説明							
		目標値							
達成率の平均値			71%	74%	79%	37%			

【市民意見】【13】

平成19年度		平成22年度	
満足度(%)	18.1%	満足度(%)	22.2%
満足度(平均ポイント)	-0.27	満足度(平均ポイント)	-0.15
重要度(%)	86.1%	重要度(%)	64.9%
重要度(平均ポイント)	1.53	重要度(平均ポイント)	0.79

各年次の市民意識調査で、施策ごとの「満足、やや満足」「重要、やや重要」の合計値として算出しています。

【一次評価】

検証項目	施策の成果と課題	施策成果の目標達成状況【14】	<input type="checkbox"/> まだ未達成	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成	<input type="checkbox"/> 目標を大きく上回る	
		意識調査での満足度【15】	<input type="checkbox"/> 平均を下回る	<input checked="" type="checkbox"/> ほぼ平均	<input type="checkbox"/> 平均を上回る	
施策の成果と課題(取組成果や目標達成に向けた課題、成果向上・コスト削減策等)【16】		◇公害問題の防止については、大気汚染、騒音、振動、河川水質などの定期調査を通じて公害の現状を捕捉し、環境白書、市報、ホームページ、エコプラザ西東京を通じて市民に公表しています。環境に対する市民の関心の高まりに応えられるよう、法改正や社会需要に即した調査を行い、その結果を分かりやすく公表することが課題です。◇大気汚染の防止については、光化学スモッグの原因物質のひとつであるVOCについて、都と連携をとりながら事業者対策を進めています。また、庁用車について、耐用年数の経過等に伴い新規に車輛を購入する際には、順次、計画的に低公害車への入れ替えを行っています。				
検証項目	今後の方針	施策の重要性の変化【17】	<input type="checkbox"/> 弱くなっている	<input checked="" type="checkbox"/> 以前と同程度	<input type="checkbox"/> 強くなっている	
		意識調査での重要度【18】	<input checked="" type="checkbox"/> 平均を下回る	<input type="checkbox"/> ほぼ平均	<input type="checkbox"/> 平均を上回る	
今後の方針(具体的な事業群や事務事業を示しながら)【19】		◇市民が公害問題や環境問題に関心がもてるよう、引き続き市民への情報提供を行っていきます。特に、大気汚染については、新たにPM2.5の調査を主要箇所にて実施しデータの収集・蓄積を進めます。また、市民に分かりやすい公表方法についてさらに工夫します。◇大気汚染の防止については、引き続き都と連携をとりながらVOC対策を行います。また、庁用車の低公害車化についても、引き続き計画的に進めていきます。				
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 効率化		
	施策実施方針【22】	V	コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域			
説明【23】		なし				
【一次評価後の事情変更等】						
総合評価	施策内容の方向性【20】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 絞込み		
	施策実施コストの方向性【21】	<input type="checkbox"/> 重点化	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 効率化		
	判断理由等【24】	公害対策については、国や都との役割分担の中で対応すべき分野であり、これまで本市では、大気汚染をはじめとした各種の公害関連データの定期調査を実施して結果を公表してきたほか、庁用車の低公害車化を進めてきました。現在、市内では重大な事象は生じていないことから、市民意識調査における重要度も相対的に低い状況ではありますが、ともすれば市民の生命にも影響する問題でもあるため、引き続き必要なデータの調査・公表を行うとともに、必要な場合には国や都に対応を求める態勢を維持することが必要との考えから、施策内容・実施コストともに現状維持とすることが妥当と判断しました。				
	施策実施方針【22】	V	コスト、成果ともに現状を維持すべき施策領域			

【施策内の事務事業貢献度判定】

環2-3 公害対策の推進

事業群	名称【25】	担当課【26】	概要【27】
2	低公害車の普及促進	管財課	地球温暖化対策のため低公害車の導入を積極的に進めています。市が率先して低公害車を導入することによって、低公害車の普及促進、市民への大気汚染防止に対する意識啓発を行うことを目的としています。共用車の買換え時の基本を東京都指定低公害車レベル基準以上のものとし、特殊用途以外は軽自動車の購入を基本としています。
	低公害車の普及促進	他課分	地球温暖化対策のため低公害車の導入を積極的に進めています。市が率先して低公害車を導入することによって、低公害車の普及促進、市民への大気汚染防止に対する意識啓発を行うことを目的としています。買換え時の基本を東京都指定低公害車レベル基準以上のものとし、特殊用途以外は軽自動車の購入を基本としています。ここでは、共用車以外の各課所有の車の買い替え分を取扱っています。
事業の合計			

総コスト(千円) ：評価年度【28】	事務事業 の評価 (直近)【29】		26市の サービス 水準との 比較【30】	施策における位置づけ【31】	貢献度 【32】
	事業費	人件費			
1,837	1,029	808	継続実施 (平成21年度)	上	低公害車の普及促進に向けて、率先して低公害車の計画的な導入を進めて、大気汚染の防止に努めています。
4,234	4,234	0	継続実施 (平成21年度)	上	低公害車の普及促進に向けて、率先して低公害車の計画的な導入を進めて、大気汚染の防止に努めています。
6,071	5,263	808			